野田留美奈　ピアノ・リサイタル

Résonance

～ 響き合う、その先へ ～

2027年6月27日（日）
13:00 開演

12:30 開場

ラ・サールF（広尾）

ゲスト出演：江口 心一（チェロ）
東京都交響楽団 副首席



少女時代に生まれた自作曲、
パリ音楽院入試課題曲として向き合った
ベートーヴェンのピアノソナタ第28番、
そしてパリで出逢った盟友との共演。

プログラム

― 第1部 ―

ソナタ ニ短調 K.9 L.413
スカルラッティ
メランコリー FP 105
プーランク
練習曲集より「和音のための」
ドビュッシー
ピアノ・ソナタ 第28番 Op.101
ベートーヴェン

― 第2部 ― 自作曲集

エレジー ～悲歌～
組曲「はだかの王様」
他

resonance2027.peatix.com

前売 ¥4,500 ／ 当日 ¥5,000
U25 前売 ¥2,000 ／ 当日 ¥2,500

2026年11月16日より Peatix にて発売開始

後援：演奏表現学会 ／ さいたま市音楽家協会 ／ 一般社団法人　全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）

©Taku Watanabe

ご挨拶

少女時代の自作曲と、パリ音楽院での出逢いと邂逅から生まれたプログラムで、初のリサイタルを行います。
前半のドビュッシーとベートーヴェンはパリ音楽院の入試課題曲であったものを、今の自分が改めて紐解きます。
後半の自作曲のうち、チェロとのデュオ曲「エレジー〜悲歌〜」は、
パリ音楽院で出会った盟友・江口心一氏が共演を務めてくださることになりました。
初めてのリサイタルを通じて、私自身を知っていただく機会になれば、
そして皆さまとの新たな響き合いの始まりとなりますように。

プログラム

― 第1部 ―

D. スカルラッティ
ソナタ ニ短調 K.9 L.413
F. プーランク
メランコリー FP 105
C. ドビュッシー
練習曲集より「和音のための」
L. v. ベートーヴェン
ピアノ・ソナタ 第28番 イ長調 Op.101

― 第2部 ― 自作曲集

・夢見るワルツ
・タランテラ
・デコボコ列車の小さな旅
・メヌエット
・私は魔女よ！
・エレジー〜悲歌〜
　共演：江口 心一
　東京都交響楽団副首席チェリスト
・組曲「はだかの王様」
　⑴ 王様の行進　⑵ 機織り　⑶ フィナーレ

プロフィール

野田 留美奈（ピアノ）

東京都板橋区出身。3歳よりピアノを始める。1989年、第43回全日本学生音楽コンクール東日本大会・中学校の部第1位。1990年、フランス国立パリ高等音楽院ピアノ科に審査員満場一致で合格。1996年、同音楽院ピアノ科・室内楽科を卒業。2003年、慶應義塾大学文学部仏文学専攻卒業。現在、さいたま市音楽家協会理事、演奏表現学会会員、板橋区演奏家協会会員、与野音楽連盟会員、一般社団法人　全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）指導会員。ソロ・室内楽の演奏活動に加え、作曲も手がけ、自作曲の演奏・発表を行う。「ルミナス・ピアノ教室」主宰。YouTubeチャンネル「Ruminarium Music」にて演奏動画の公開と自作曲の楽譜販売を行っている。

江口 心一（チェロ）

ゲスト出演

3歳からバイオリンを始める。8歳でチェロに転向。1992年、フランスのパリ国立高等音楽院に首席で入学。1997年、同音楽院で一等賞（プルミエ・プリ）を獲得。2000年1月より東京都交響楽団団員。現在、同交響楽団副首席。ピアノ五重奏団 Mercedes ensemble のメンバー、洗足学園音楽大学非常勤講師。リリースされたCDは「20世紀の無伴奏チェロ作品」「和 CELLO 〜無伴奏作品集〜」その他、ヴァイオリンとのデュオ2枚、弦楽三重奏2枚、2017年7月「Dialogue 〜涙の理由〜」、2019年12月 メンデルスゾーン ピアノ三重奏曲 第1番＆第2番（東京トリオ）。

会場アクセス



LaSalle F

ラ・サールF（広尾）

2027年6月27日（日）12:30 開場 ／ 13:00 開演

〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-19-8
FIビル 3F
・東京メトロ日比谷線「広尾駅」2番出口より徒歩5分
・JR「恵比寿駅」東口より徒歩15分